

科目名 (英)	生活支援技術A (Life Support Skills A)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120	開講区分 曜日・時限
						前期・後期 木曜、1、2(3、4)時限目
【授業の学習内容】						
<p>尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。生活支援の専門職である介護福祉士は、利用者の介護を行なう際には、自立に向けた支援を行うことを目標とすることを学び、その具体的支援技術を学ぶ必要がある。そのため、具体的な学習内容として、居住環境の整備・身じたく・移動・食事・入浴清潔・排泄・睡眠の自立に向けた介護技術が理解できる。</p> <p>※実務者経験：福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当していた。※取得資格：介護福祉士 ・ 社会福祉士</p>						
【到達目標】						
<p>生活支援の専門職である介護福祉士は、利用者の介護を行なう際には、自立に向けた支援を行うことを目標とすることを学び、その具体的支援技術を学ぶ必要がある。そのため、具体的な学習内容として、居住環境の整備・身じたく・移動・食事・入浴清潔・排泄・睡眠の自立に向けた介護技術を理解し、実践できるようになる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	「生活支援とは①」…生活を理解する視点について理解できる。
2回目	「生活支援とは②」…生活支援の基本的な考え方(福祉用具の活用)について理解できる。
3回目	「生活支援とは③」…生活支援における介護予防について理解できる。
4回目	「基本となる介護技術」…アセスメントの意味・手法、安全・安楽な介助提供のために必要な知識(ボディーメカニクス)について理解できる。
5回目	「環境整備①」…居住空間の整備(ベッドメイキング)について理解できる。
6回目	「環境整備②」…居住空間の整備(ベッドメイキング)について理解できる。
7回目	「環境整備③」…居住空間の整備(ベッドメイキング)について理解できる。
8回目	「環境整備④」…居住空間の整備(ベッドメイキング)について理解できる。
9回目	「身じたくの介護①」…身じたくの意義と目的について理解できる。
10回目	「身じたくの介護②」…身じたくの意義と目的について理解できる。
11回目	「身じたくの介護③」…身じたくにおける介護技術(整容)について理解できる。
12回目	「身じたくの介護④」…身じたくにおける介護技術(口腔清潔)について理解できる。
13回目	「身じたくの介護⑤」…身じたくにおける介護技術(着脱)について理解できる。
14回目	「身じたくの介護⑥」…身じたくにおける介護技術(着脱)について理解できる。
15回目	「身じたくの介護⑦」…身じたくにおける介護技術(着脱)について理解できる。
16回目	「身じたくの介護⑧」…身じたくにおける介護技術(着脱)について理解できる。
17回目	「移動の介護①」…移動の意義と目的について理解できる。
18回目	「移動の介護②」…移動の意義と目的について理解できる。
19回目	「移動の介護③」…移動・移乗における技術(体位変換)について理解できる。
20回目	「移動の介護④」…移動・移乗における技術(安楽な体位)について理解できる。
21回目	「移動の介護⑤」…移動・移乗における技術(車椅子介助)について理解できる。
22回目	「移動の介護⑥」…移動・移乗における技術(車椅子介助)について理解できる。
23回目	「移動の介護⑦」…移動・移乗における技術(移乗の介助)について理解できる。
24回目	「移動の介護⑧」…移動・移乗における技術(移乗の介助)について理解できる。
25回目	「移動の介護⑨」…移動・移乗における技術(歩行の介助)について理解できる。
26回目	「食事の介護①」…食事の意義と目的について理解できる。

27回目	「食事の介護②」…食事の意義と目的について理解できる。
28回目	「食事の介護③」…食事における技術(食事介助)について理解できる。
29回目	「食事の介護④」…食事における技術(食事介助)について理解できる。
30回目	「食事の介護⑤」…食事における技術(誤嚥・窒息予防)について理解できる。
31回目	「食事の介護⑥」…食事における技術(脱水予防)について理解できる。
32回目	「入浴・清潔保持の介護①」…入浴の意義と目的について理解できる。
33回目	「入浴・清潔保持の介護②」…入浴の意義と目的について理解できる。
34回目	「入浴・清潔保持の介護③」…入浴・清潔保持における技術(入浴介助)について理解できる。
35回目	「入浴・清潔保持の介護④」…入浴・清潔保持における技術(入浴介助)について理解できる。
36回目	「入浴・清潔保持の介護⑤」…入浴・清潔保持における技術(清拭)について理解できる。
37回目	「入浴・清潔保持の介護⑥」…入浴・清潔保持における技術(清拭)について理解できる。
38回目	「排泄の介護①」…排泄の意義と目的について理解できる。
39回目	「排泄の介護②」…排泄の意義と目的について理解できる。
40回目	「排泄の介護③」…排泄における技術(排泄介助)について理解できる。
41回目	「排泄の介護④」…排泄における技術(排泄介助)について理解できる。
42回目	「排泄の介護⑤」…排泄における技術(採尿器・差込便器・導尿器)について理解できる。
43回目	「排泄の介護⑥」…排泄における技術(浣腸・坐薬挿入)について理解できる。
44回目	「排泄の介護⑦」…排泄における技術(頻尿・尿失禁)について理解できる。
45回目	「排泄の介護⑧」…排泄における技術(下痢・便秘)について理解できる。
46回目	「睡眠の介護①」…睡眠の意義と目的について理解できる。
47回目	「睡眠の介護②」…睡眠の意義と目的について理解できる。
48回目	「睡眠の介護③」…睡眠における技術(不眠時の介助)について理解できる。
49回目	「睡眠の介護④」…睡眠における技術(不眠時の介助)について理解できる。
50回目	「睡眠の介護⑤」…睡眠における技術(睡眠と薬)について理解できる。
51回目	「睡眠の介護⑥」…睡眠における技術(睡眠と薬)について理解できる。
52回目	「終末期の介護①」…終末期における介護の意義と目的(尊厳の保持等)について理解できる。
53回目	「終末期の介護②」…終末期における介護の意義と目的(事前意思確認等)について理解できる。
54回目	「終末期の介護③」…終末期における技術(ICFの視点にもとづくアセスメント)について理解できる。
55回目	「終末期の介護④」…終末期における技術(医療との連携等)について理解できる。
56回目	「終末期の介護⑤」…臨終期の介護(臨終時の対応)について理解できる。
57回目	「終末期の介護⑥」…死後の対応(グリーフケア)について理解できる。
58回目	「緊急時対応の知識と技術①」…緊急時の対応について理解できる。
59回目	「緊急時対応の知識と技術②」…応急処置・緊急時対応の実際について理解できる。
60回目	「福祉用具の意義と活用」…介護ロボットを含め福祉用具を活用する意義やその目的、および使用方法について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。

評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：新・介護福祉士養成講座⑦「生活支援技術Ⅱ」（中央法規出版）	